

製品の保証・標準使用期間について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記保証期間をご参照の上、購入店または下記記載のお問合せ先へご連絡ください。

1. 保証項目・期間

| | | |
|----------|---------------|----|
| 外観・表面仕上げ | 塗装及び樹脂部品の変・褪色 | 1年 |
| 機構部・可動部 | 回転機構部・可動部の故障 | 2年 |
| 構造体 | 強度・構造体に関わる破損 | 3年 |

※保証項目は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。

※この期間は、通常の状態で使用された場合を想定して定めたものですので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使用をされる場合での保証期間ではありません。

※保証期間経過後の修理については、有償とさせていただきます。

2. 保証対象外

保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。

- ・火災、天災による故障または破損。
- ・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。

3. JOIFA標準使用期間

棚(固定式)標準使用期間:10年

※JOIFA標準使用期間は耐用年数・保証期間ではありません。

お問合せ先

PC・スマホ・タブレットで右のQRコードを読み取るか下記のURLを入力すると金剛株式会社の支店・営業所のお問合せ先をご覧いただけます。



URL: <https://www.kongo-corp.co.jp/company/base.html>

受付時間 月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00

(土・日・祝日・年末年始・夏季休暇等を除く)

安心と先進で社会文化に貢献する



www.kongo-corp.co.jp

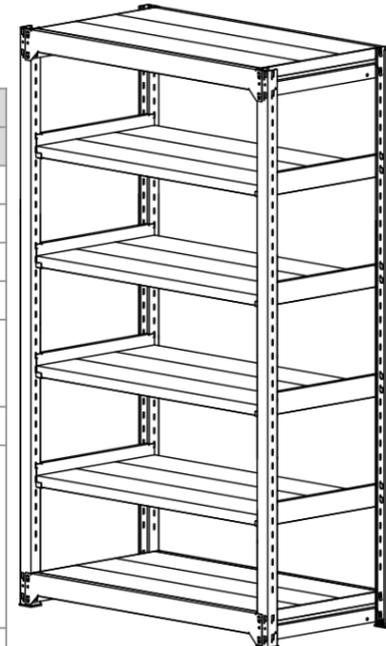
取扱説明書

中量物品棚 BLH

※組み立て前にこの取扱説明書を必ずお読みください。組み立て後は取扱説明書を大切に保管してください。

| 機種 | | 構成部材(棚1台分の内容物) | | | |
|--------|----|--------------------------------------|--|-------|------|
| BLH | | 部材名 | 〈基本型〉 | 〈連結型〉 | |
| 耐荷重 | | 300kg/段(奥行450mm) | | | |
| 外寸法 | 高さ | 1505/1805/2105 mm | | | |
| | 間口 | 955/1255/1555/1855 mm | | | |
| | 奥行 | 450/650/850 mm | | | |
| 間口許容寸法 | | 845/1145/1445/1745 mm | | | |
| 奥行許容寸法 | | 400/600/800 mm | | | |
| 棚段 | | ご注文段数 | | | |
| 表面材 | | 本体:スチール プッシュリベット:ナイロン 基礎:EVA樹脂 | | | |
| 表面加工 | | ポリエステル系樹脂塗装 アクリル系樹脂塗装 | | | |
| 7 | | 支柱 | 基本:4本 | 連結:2本 | |
| | | 基礎 | 基本:4ヶ | 連結:2ヶ | |
| | | 側ツナギ | 4本 | | |
| | | 連ツナギ | 4本 | | |
| | | 棚板(分割方式) | D450:(天地段数)×2枚 D650:(天地段数)×3枚 D850:(天地段数)×4枚 | | |
| | | 棚受 | (天地段数-2)×2枚 | | |
| | | プッシュリベット | (天地段数×棚板連結穴数+16ヶ) ※天地段数:お買い求めの仕様をご確認ください。 ※棚板連結穴数:お買い求めの仕様により異なります。下表をご参照ください。 | | |
| | | | D450 | D650 | D850 |
| | | W 955/1255 | 2 | 4 | 6 |
| | | W 1555/1855 | 3 | 6 | 9 |

※最初に必要な部材が揃っているか確認ください。
※転倒防止用部品をご購入の際は、別途お問い合わせください。



※棚板の分割枚数は奥行によって変わります。本図は奥行650mmの場合のイメージです。

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

- 床固定・天ツナギ・壁固定などの転倒防止装置を外して使わないでください。棚が転倒してけがをすることがあります。
- 収納物を棚から突き出して収納しないでください。荷崩れによってけがをすることがあります。
- 部品同士のかみ合わせ不良、支柱の変形などの異常を発見したまま使用しないでください。
- 製品が壊れてけがをすることがあります。
- 棚通路での作業中、もしも地震や火災に遭遇した場合は直ちに棚通路から退出してください。荷崩れによってけがをすることがあります。
- 廃棄するときは、専門業者にお任せください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
- 分解・修理・移動は専門業者にお任せください。転倒などの事故になることがあります。

⚠注意 人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

〈組み立て・設置について〉

- 狭い場所での作業は避け、床や他の家具などにキズがつかないように丁寧に取り扱いください。
- 必ず純正部品を使ってください。純正部品でない、十分な強度が得られません。
- 必ず平らな場所へ設置してください。床が不安定だと、棚が転倒することがあります。また、棚板を踏み台代わりにしたり、上に乗ったりしないでください。

〈使用について〉

- 棚板に耐荷重以上のものを収納しないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。荷物は一か所に偏らず平均的に載せてください。集中荷重をかけると棚板に無理が生じて破損するおそれがあります。
- 天板の上に物を載せないでください。収納物が落下してけがをすることがあります。
- 天板及び棚板に手足をかけた、登ったりしないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。
- 棚板への収納物の積み下ろしは丁寧にこなしてください。棚板が外れてけがをすることがあります。
- 本体の上に乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。

- 可動部の隙間に手を入れないでください。けがをすることがあります。
- 棚板の位置を変更する場合は、軍手などの保護具を使用してください。けがをすることがあります。
- 棚板などの塗装面には、傷をつけないよう注意してください。錆発生の原因となります。
- 部品の位置(上下左右)を確認の上、正しく使ってください。部品を逆向きに使用するとけがをすることがあります。
- 危険物(壊れ物、薬品、生物など)を収納しないでください。人や衣服などを傷つけることがあります。
- 清掃をおこなう場合は、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。塗装が変色したり剥けたりします。
- 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。
- 乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けてください。けがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。
- 製品に不具合や不明な点がありましたら、早めに弊社へご連絡してください。



2名

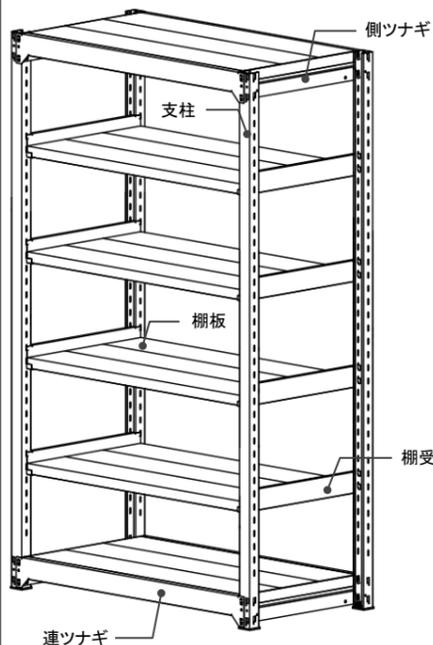


プラスチックハンマー

(ホームセンター等でお買い求めください。)

組立説明

完成イメージ

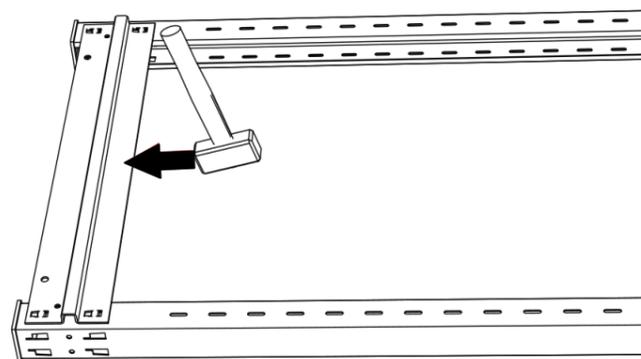


※棚板の分割枚数は奥行によって変わります。本図は奥行650mmの場合のイメージです。

1 支柱に基礎を取り付けます。
支柱には上下があるため、支柱穴を下図の向きにし取り付けます。



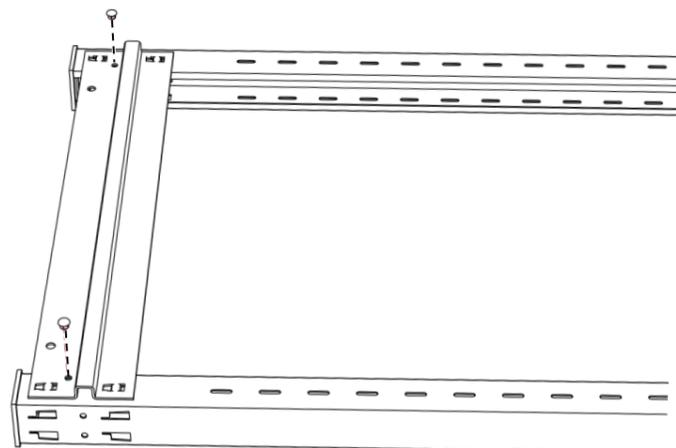
2 2本の支柱を開口部分が向き合うように並べ、側ツナギを上下に組み付けます。プラスチックハンマー等で、側ツナギの爪を支柱の穴に叩き込みます。



POINT 側ツナギは上下があり、爪を上から下に差し込むように組み付けます。

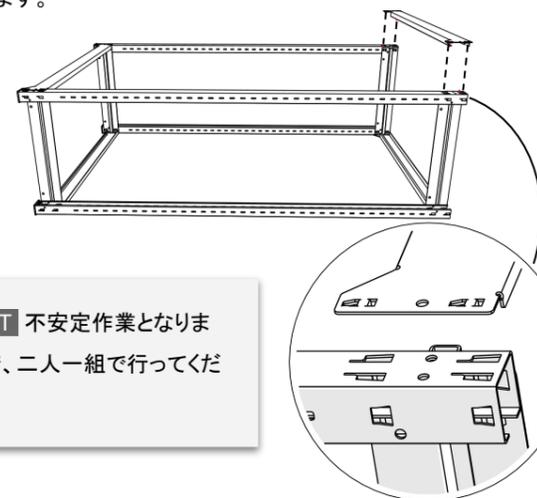
POINT 支柱に傷が入らないように、床に段ボール等を敷きます。

3 組み付けた支柱と側ツナギをプッシュリベットで固定します。



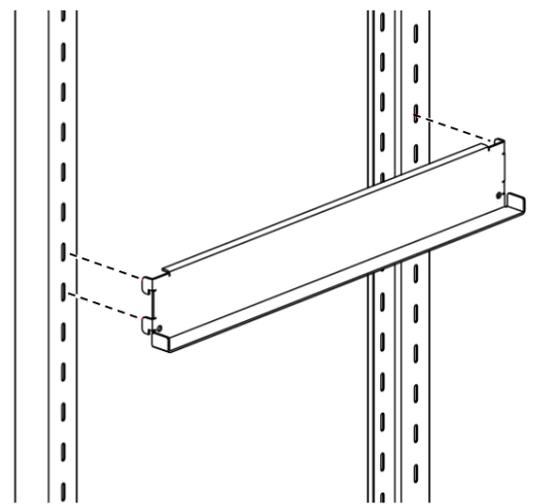
注意! 組立時にプラスチックハンマー等で叩き込む工程があります。誤って手を叩いて怪我しないようお気を付けてください。

4 連ツナギの爪を支柱の穴に入れ、プラスチックハンマー等で叩き込みます。支柱は側ツナギが内側になるよう配置します。



POINT 不安定作業となりますので、二人一組で行ってください。

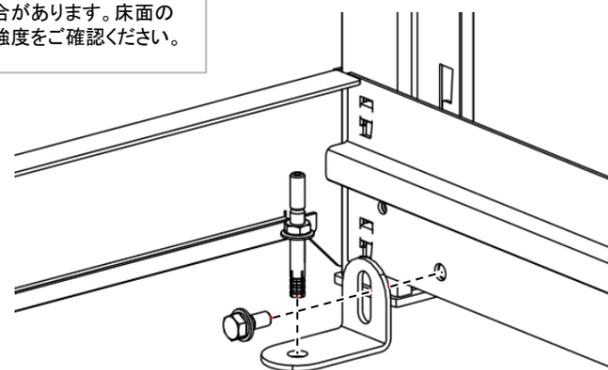
6 支柱の袖穴に棚受を商品サイズに応じて、順次取り付けます。



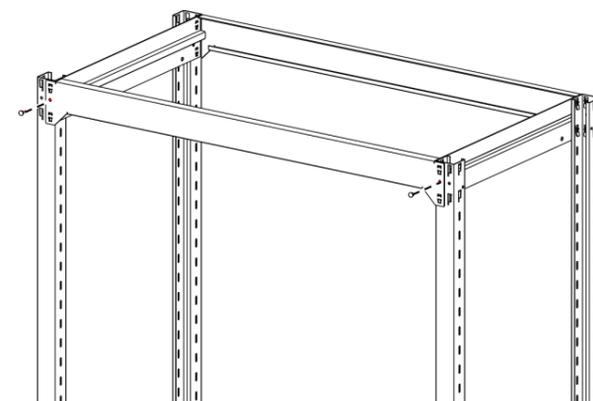
床固定・壁固定は専門業者にお任せください。

床固定 側ツナギに床固定金具を六角ボルトで固定し、床固定金具をアンカーボルトで固定します。

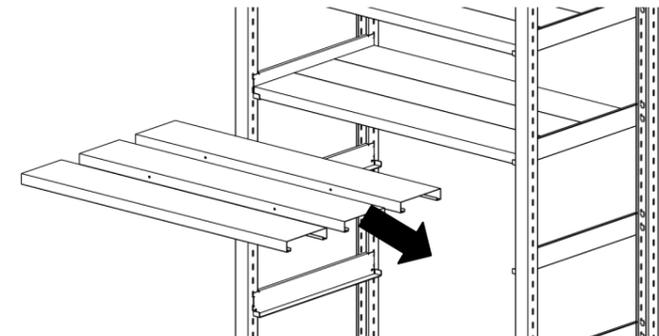
注意: OAフローアや木製床などの場合、十分な強度が得られない場合があります。床面の強度をご確認ください。



5 組み付けた支柱と連ツナギをプッシュリベットで固定します。



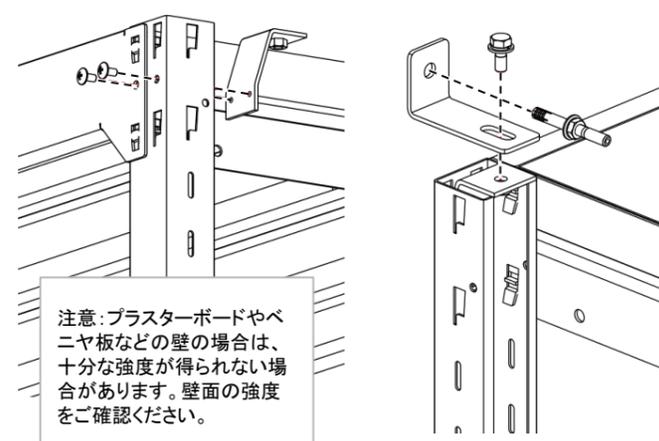
7 棚板を棚受に載せます。最上段にも棚板を載せてください。



※棚板の分割枚数は奥行によって変わります。本図は奥行600mmの場合のイメージです。

POINT 棚板側面に穴があるものを内側に置きます。穴同士が重なっていることを確認し、プッシュリベットを挿入して棚間を固定します。

壁固定 壁固定取付金具を支柱・連ツナギと共にトラス小ねじM6×12で固定します。壁固定金具をM8ボルトで取付金具に固定し、アンカーボルトで壁に固定します。



注意: プラスターボードやベニヤ板などの壁の場合は、十分な強度が得られない場合があります。壁面の強度をご確認ください。